

ライトレース競技説明

ライトレース^{きょうぎ}競技は、ロボカップジュニア^{きょうぎ}競技ではありません。

千葉ノード・オリジナル^{きょうぎ}の競技で、初心者^{しよしんしゃ}・入門者^{にゆうもんしゃ}向けです。

[1]参加^{さんか}資格^{しかく}

- 小学生から高校1年生まで。
- 線^{せん}にそってロボットを動か^{うご}そうとすることが目標^{もくひょう}になるロボット入門者^{にゆうもんしゃ}。
- 1人でもいいですし2人以上^{いじょう}で1チーム^{さんか}での参加もできます。
- 千葉ノード大会^{ほか}の他の^{きょうぎ}競技^{さんか}に参加しない人。
- ロボットやパソコンなど必要^{ひつよう}なもの^{ようい}を用意できるチーム。

[2]参加^{さんか}費^ひ

- 1チーム1,000円です。

[3]ロボット

- 25cm×25cmの正方形^{せいほうけい}に入る^{はい}大きさ^{おお}であること。
- プログラムを入^{にゅうりよく}力するタイプのロボットでなければいけません。
- 市販^{しはん}キットのロボットやライトレース専用^{せんよう}ロボット^{さんか}で参加できます。

[4]コース

- 白しろのプラスチック段だんボールに黒くろのビニールテープで線せんを引ひきます。
- 線せんが交まじわることはありません。となりの線せんとは 15cm以上、離はなれています。
- まっすぐな線せんとなめらかなカーブだけです。

[5]計測・判定

- 審判しんぱんがストップウォッチで時間じかんを計はかります。
- スタートからゴールまでの時間じかんを計はかります。
- ロボットのすべてが線せんから外はずれたらコースアウトです。
- コースアウトしたときは、すぐばしょにコースアウトした場所すこの少し先さきに、選手せんしゅが自分じぶんでロボットおを置かきます。コースアウトした回数かいすうだけ、20秒びょうを記録時間きろくじかんに加くわえます。

[6]競技の回数

- 3回、時間じかんを計はかります。

[7]表彰

- 完走者全員かんそうしゃに時間じかんを記録きろくした表彰状ひょうしょうじょうをわたします。